研究課題名

「心血管イベントを発生した大動脈-肺動脈間を走行する冠動脈起始異常症例におけるClinical Profileおよび治療後の予後についての後方研究」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H29中倫小第83号）

研究実施についてのお知らせ

　沖縄県立中部病院　循環器内科　では、下記の多施設共同研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成30年1月29日

【研究課題名】

心血管イベントを発生した大動脈-肺動脈間を走行する冠動脈起始異常症例におけるClinical Profileおよび治療後の予後についての後方研究

【研究期間】

2018年1月29日から2018年12月31日

【調査対象】

1980年から2016年に心肺停止、心筋梗塞、狭心症症状及び失神などの症状を含む心血管イベントにより、当院に受診された大動脈-肺動脈間を走行する冠動脈起始異常の症例

【研究目的・意義】

大動脈-肺動脈間を走行する冠動脈起始異常は突然死のリスクの高い先天性心血管疾患であることはすでに報告されている。しかしながらこれらの報告は、突然死を起こした症例の病理的特徴を解析したものや、無症状の冠動脈起始異常を解析した報告[2](#_ENREF_2)が多く、実際に心血管イベントを発生した症例は一例報告で散見されているのみであるのが現状であり、これらの症例の予後については、内服や手術を含め未だ明らかではない。また、冠攣縮の合併もイベントの発生に寄与していると推測されているが、その機序は全く解明されていない。そのため、本研究は心血管イベントを起こした大動脈-肺動脈間を走行する冠動脈起始異常の患者を対象に、冠攣縮を含めた臨床的特徴や治療方法の選択、および予後の調査を行うことを目的とする。

【研究の方法】

心肺停止、心筋梗塞、狭心症症状および失神などの症状を含む心血管イベントにより受診された冠動脈起始異常があり起始異常冠動脈が大動脈-肺動脈間を走行する症例を集計し検討する。臨床的特徴やCTによる起始異常冠動脈の走行や冠動脈造影および冠攣縮誘発を含む各種検査結果、治療方法の選択および予後の検討を集積し、解析を行う。明らかに非心血管イベントが原因であった症例や、データ登録を拒否された症例は除外する。また治療への介入は行わないものとする。

血液検査・心電図・負荷心電図・心筋SPECT・心エコー検査・CT検査・心臓カテーテル検査・治療内容と経過を調査する。

　【個人情報の取扱い】

　研究実施に係る試料等を取扱う際は，研究対象者の個人情報とは関係ない研究対象者コードを付して管理し，研究対象者のプライバシー保護に十分配慮する。研究の結果を公表する際は，研究対象者を特定できる情報を含まないようにする。また，研究の目的以外に，研究で得られた研究対象者の試料等を使用しない。

【研究機関】

研究責任者

日本大学医学部附属板橋病院循環器内科　永嶋孝一

〒173-8610東京都板橋区大谷口上町30-1　　電話：03-3972-8111

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院 循環器内科　仲里淳

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281　電話：098-973-4111